



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和5年11月8日発行

第18号

中信教育事務所

ご意見はこちら→   ←過去の「共に歩まん」はこちら

つな
げる

シリーズⅢ「教育課程研究協議会特集」③ 音楽、体育・保健体育

【音楽】 大町市立美麻小中学校（第8学年）

題材名：「メンドシーノのみんなに届け！美麻って、日本っていいところなんだよ！」
〔創作〕

【目指す子ども像】

○心と体をひらいて学ぶ美麻の子 ○自律した学習者



目指す子どもと出会うために

1. 振り返りや生徒のつぶやきをもとに、注目した点や感じた疑問・課題から学習場面・学習問題を設定する。
2. 協働の学びを軸にして、思いをつなぐ。
3. 音楽的な見方・考え方が働くようにし、知覚したことと感受したことの関わりについて考えたことを大切にする。

〈本時の子どもの育ち〉

生徒が、目的意識や相手意識をもって創作の活動に取り組めるように、30年以上にわたり姉妹都市交流を行っているアメリカのメンドシーノの訪問団の皆さんに向けて、日本や美麻のよさを伝えるために「美麻かるた」をもとにした創作の題材を構想したS先生。生徒は五七五の語感や日本の五音音階を生かしたポップス音楽を聴き、そこから気づいたことについて友と対話することで、「リズム」や「旋律」の要素の働きを知覚・感受し、創作活動への見通しをもつことができました。

【体育】 松本市立開智小学校（第5学年）

単元名：フリーマン・シュートチャンスマンになって みんなでシュート！

【目指す子ども像】

- 愛（清く） 人の気持ちができる 思いやりのある子ども 《相手意識》
- 正（正しく） 自分で考え、判断し、行動できる子ども 《自己決定》
- 剛（たくましく） ねばり強く、本気でやりぬく子ども 《チャレンジ》



目指す子どもと出会うために

1. 児童の実態、単元終末で目指す姿を踏まえた、教材化の工夫
2. 運動のイメージを共有し、課題解決に向けての見通しをもてる単元展開
3. 学びの充実につながるICT機器の活用

〈本時の子どもの育ち〉

A生のチームでは、「パスカットされてしまう」という課題を解決するために、『ゴールの位置』『パスを受けるであろう味方の動き』『パスを受けないであろう味方の動き』の視点から、タブレットを使いながら各自の動きや役割を決め出し、課題を解決するとともに、「フリーでシュートを決める」という単元終末で目指す姿を達成していました。